

# 総務文教常任委員会

## 今年度も全小・中学校に 新型コロナウイルス感染予防対策用品を一斉配備

9月定例会の総務文教常任委員会では、仙北市行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく「仙北市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例制定について（マイナンバー法）」、「仙北市財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例の一部を改正する条例制定について」、令和4年度の決算認定、令和5年度の補正予算などについて審査されました。

補正予算では、災害対策総務費や補正財源のあり方などについて議論されました。

### 令和5年度 総務部・教育委員会関係の一般会計補正予算 主な内容

災害対策総務費	117万円	災害対策本部の防災服購入費
教育留学推進事業費	9万円	探求型学習短期留学へ参加する都会の子どもたちの共通経費等
交流センター管理運営費	157万円	交流センターの暖房設備の修繕費等
小学校保健特別対策事業費	585万円	小学校での新型コロナウイルス感染予防対策の換気、除菌等に係る備品等の購入
中学校保健特別対策事業費	450万円	中学校での新型コロナウイルス感染予防対策の換気、除菌等に係る備品等の購入
小学校管理費（白岩小学校）	102万円	児童の学力向上を図るための学習アプリケーションの導入経費
小学校管理費（角館小学校）	102万円	電話設備の更新経費
中学校管理費（角館中学校）	103万円	体育館で使用するパイプ椅子の購入
市民会館管理運営費	2万円	危険物取扱者乙類第4種の資格取得経費

### 令和4年度 一般会計歳入歳出決算認定審査の質疑から

#### 仙北市育英奨学資金の今後の財源について

**質問** 育英奨学基金繰出金について、令和4年度は60件と年々増加傾向にある。この事業は、若者対策として継続していただきたいが、今後の財源について当局の考えを問う。

**答弁** 予算的な部分で担当課としても気になるころではあるが、財政課等にこの事業の良さや効果を強く伝えながら協議し、できるだけ継続していきたいと考えている。

#### ふるさと納税の返礼品作りについて

**質問** ふるさと納税ふるさと便事業費について、様々なケースを想定し、米以外の魅力ある返礼品作りが必要と考えるが、どのように考えているのか。

**答弁** 総務省の専門アドバイザーからもアドバイスをいただき、様々な事業者に交渉に回っている。昨年からは旅先納税については、事業者を回り加入促進を図っている。



■昨年からは旅先納税の電子ギフト

## ここが知りたい 議論のポイント

### 一般会計補正予算の主な質疑

#### 災害対策本部の防災服購入について

**質問** 防災服の購入について、購入の経緯と対象者について。

**答弁** 7月の豪雨時の災害対策本部において各部局員がバラバラの作業着で他機関と市職員本部員の区別がつかないなどの弊害があった。

近年のゲリラ豪雨の頻発化等、対策本部設置が増えることが予想されることと、県

や国への要望時の会議などで防災服の着用を指定される場面が多々あるため、災害対策本部員の防災服を購入したい。

#### 市民会館の危険物取扱者の資格取得について

**質問** 管理運営費について、消防の立ち入り検査で危険物取扱の資格が必要とのことだが、今後の対応について。

**答弁** 冷暖房を動かす冷温水発生機が重油を使っており、地下タンクの容量が5,000ℓであり、危険物取扱者乙類第4種の資格が必要となり、今回の補正はその受験にかかる費用となる。人事異動で資格のない職員が配置された場合、新たに資格を取りに行くことになる。

# 市民福祉常任委員会

## 今年度の新規事業

### 高齢難聴者補聴器購入費助成 5人分を追加補正

9月定例会の市民福祉常任委員会では、令和5年度一般会計補正予算及び令和4年度決算について審査されました。高齢難聴者補聴器購入費助成の追加予算や、マイナンバーカードでの各種証明書等を全国のコンビニで発行しているサーバー更新費用など多岐にわたり議論されました。

#### 令和5年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算 主な内容

通知・個人番号カード関連事務費	785万円	各種証明書をコンビニで発行しているサーバー更新費用
高齢難聴者補聴器購入費助成事業費	15万円	助成対象者が当初予算より増えたため追加の補正費用
新型コロナワクチン接種体制確保事業費	49万円	ワクチン接種会場に設置する車椅子とシルバーカーの購入費用

**委員** 市民の命と健康を守るための施策だと思いつつ、いざというときに足りない状況は防ぎつつ、あまり不用とならない予算執行をお願いしたい。

**答弁** 予防費のワクチン接種に係る委託料であり、市としてもなるべく沢山の市民の方に予防接種を受けて頂きたいと考えており、それに対する十分な予算措置をしているところである。しかし、コロナ禍の状況もありワクチン接種の接種率が低調だったため不用額が発生している。今後は各部署のデータをしっかりと収集し適切な予算編成に努めていく。

**質問** 保健衛生費の不用額約1億4,700万円について内訳はどのようになっているか。

**答弁** 予防費のワクチン接種に係る委託料であり、市としてもなるべく沢山の市民の方に予防接種を受けて頂きたいと考えており、それに対する十分な予算措置をしているところである。しかし、コロナ禍の状況もありワクチン接種の接種率が低調だったため不用額が発生している。今後は各部署のデータをしっかりと収集し適切な予算編成に努めていく。

**質問** 民生費の不用額が約2億8,900万円について、市民個人への支給が多い民生費であるが、市民にしっかりと行き届いているか。

**答弁** 民生費は、歳入として国庫金の占める割合が多く、予算要求時点で支給対象者や対象世帯が確定しておらず、交付後は増額できないため、余裕を持たせた予算要求であることが要因である。支給対象者には、個別の通知や様々な周知媒体により周知し、支給漏れないように努めている。

**質問** 歳出予算の経費の金額のうち結果として使用する必要が無くなった額

**答弁** 民生費の不用額が約2億8,900万円について、市民個人への支給が多い民生費であるが、市民にしっかりと行き届いているか。

**質問** 民生費は、歳入として国庫金の占める割合が多く、予算要求時点で支給対象者や対象世帯が確定しておらず、交付後は増額できないため、余裕を持たせた予算要求であることが要因である。支給対象者には、個別の通知や様々な周知媒体により周知し、支給漏れないように努めている。

**質問** 歳出予算の経費の金額のうち結果として使用する必要が無くなった額

令和4年度一般会計歳入歳出決算認定に関する主な質疑  
**ここが知りたい  
 議論のポイント**

## 令和4年度病院事業会計決算を全会一致で認定

～病院の未収金制度の在り方と経営改善について議論～

### 病院事業会計の未収金に関する意見

未収金の中で、古いものは30年以上も前のものもあり、回収の見込みも不明である。他の債権と違い、不能欠損処理の取り扱いが難しいかもしれないが、決算としては、回収できるものを未収金として計上するのが普通であり、その判断がきちんできする方法を、今後検討し改善して頂きたい。

### 病院事業の経営改善に関する意見

純損失で3億2,800万円ほど。累積で66億2,500万円程の多額の欠損金となっている。人口減少とともに、ますます厳しい病院経営になると思うが、抜本的な病院の経営改善を図り、しっかりと市民の命と健康を守るとともに、両病院を存続して頂きたい。

慎重審査の結果、上記の意見を付して全会一致で認定すべきものと決定いたしました。



■経営改善に向けた「公立病院経営強化プラン」を策定中の病院事業

### 令和4年度 仙北市病院事業会計決算 単位：千円

	角館病院	田沢湖病院	合計
医業収益	3,039,737	580,796	3,620,533
医業費用	3,895,423	870,650	4,766,073
<b>医業利益</b>	<b>△ 855,686</b>	<b>△ 289,854</b>	<b>△ 1,145,540</b>
医業外収益	677,252	314,540	991,792
医業外費用	146,306	39,890	186,196
<b>経常損失</b>	<b>△ 324,740</b>	<b>△ 15,204</b>	<b>△ 339,943</b>
特別利益	6,866	4,801	11,667
特別損失	0	0	0
<b>純損益</b>	<b>△ 317,874</b>	<b>△ 10,403</b>	<b>△ 328,277</b>

# 産業建設常任委員会

## 今年度の社会資本整備総合交付金の配分率確定 対象事業費約1億7千万円が減額

9月定例会の産業建設常任委員会では、主に令和5年度一般会計補正予算や令和4年度一般会計歳入歳出決算認定及び令和4年度の温泉・水道・下水道事業決算について審査されました。一般会計補正予算では、社会資本整備総合交付金の配分率が確定し、事業費が1億7千万円程減額になりました。

### 令和5年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計補正予算 主な内容

低コスト技術等導入支援事業費	547万円	米生産の省力化、省人化のスマート農機等の導入に支援事業費
農村施設管理運営費	243万円	上桧木内地区紙風船館広場舞台屋根のパネル撤去と屋根の修繕費
田沢湖駅前広場維持管理費	394万円	無散水消雪施設の放熱管洗浄にかかる委託費
上桧木内の紙風船上げ事業費	31万円	燃油代高騰により会場除雪・警備等にかかる委託費の不足分を増額
瀧前山森林公園等管理運営費	84万円	コテージのシャワー等の故障による修繕費
道路新設改良費	△1億456万円	社会資本整備総合交付金事業費（交付金配分率確定による減額）
雪寒地域建設機械整備費	△6,666万円	社会資本整備総合交付金事業費（交付金配分率確定による減額）

### 令和4年度 公営企業会計決算認定の主な質疑

**温泉事業** 滞納繰越が7戸で330万円あるが、一番古いものでいつからのものか。また、いつ頃完納予定か。

**答弁** 一番古いもので平成25年から令和2年度までの分で3施設分となっている。しかし年々分割で納めていただいております。何年までに完納か明言はできないが2施設は月々2万円、1施設は月々5千円ずつ納めていただいております。今年度はどこも不履行なく納めていただいております。

**水道事業** 山谷川崎地区と卒田地区の建設改良工事はどのような状況か。また既に工事が完了しているとすれば加入率はいくらか。

**答弁** 令和4年度で山谷川崎地区は工事が完了し給水が始まっている。卒田地区は令和7年度まで工事が実施予定だが一部完成した区間は給水が始まっている。工事が完了している山谷川崎地区に関しての加入率は、令和5年9月現在で人口割にして約33.3%である。

**下水道事業** 流域下水道維持管理負担金が600万円ほど増えているが何か特別な要因があるのか。

**答弁** 特別な要因はない。施工具合により、年度ごとの負担金額が変わる仕組みとなっている。

### 令和4年度 公営企業会計決算を認定 単位：千円

会計名	事業名	収入	支出	収支差引額	企業債残高
公営企業会計	温泉事業	47,344	47,399	△55	109,615
	水道事業	461,904	592,047	△130,143	3,755,089
	下水道事業	809,672	901,462	△91,790	5,444,999

## ここが知りたい 議論のポイント

### 一般会計補正予算の主な質疑

**田沢湖駅前広場維持管理費について**  
**質問** 過去に修繕した経緯があるのか。定期的に修繕するものなのか何う。

**答弁** 本格的な修繕は、昨年度から行っており、4～5年に分けて行う予定である。本管の修繕は当初予算に計上している。今回の補正予算は、本管よりも末端に詰まりがあることが判明し、洗浄して通りをよくするための委託費である。消雪状況の悪いところから優先して修繕していく。

**農村施設管理運営費について**  
**質問** 紙風船館広場舞台屋根の現状と工事内容について何う。

**答弁** 屋根に太陽光発電パネル25枚が設置されており、落下して壊れているものもある。その関係もあり、屋根が雨漏りをしている。本事業ではパネル撤去、処分と雨漏りの修繕をする。

**稲作低コスト技術等導入支援事業費について**  
**質問** 申請件数、採択件数と採択された企業の理由を何う。

**答弁** 申請3件、採択1件である。県の審査にあたって、経営・営業規模、導入機械など採択基準となる加点ポイントが多かったことに加え、中山間地域であることも加点となったのではないかとと思われる。